

関わり合える子の育成とあいさつができる子(基本的生活習慣と規範意識)の育成

4月8日にスタートした平成20年度第1学期も今日の終業式で終了しました。1学期の授業日数71日。この間、保護者の皆さん、地域の皆さんをはじめ、多くの方々に、協力・応援していただきましたことに、厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、明日から8月31日までの44日間、普段の年より2日長い夏休みが始まります。このようなまとまった休みでなければできないことを、各自目標にし、計画的に過ごすことと、地域の一員として、地域のひと・もの・ことに大いに触れてほしいと思っています。事故や病気に気をつけ、9月1日、元気な姿で会えることを楽しみにしています。

ところで、今月号は、重点目標4つの柱の中から、「関わり合える子の育成」と「あいさつができる子の育成」について、1学期の取組の様子をお話しします。

関わり合える子(豊かな心)の育成

①人間関係力を高める。

○全校遊びの実施 ○人間関係力育成プログラムの実施

②自治能力と自力解決能力を高める。

○学級活動での話し合いの指導 ○児童総会での話し合いの指導 ○児童の企画による集会の実施

③人権意識を高める。

○人権・同和教育の充実



人の意見と自分の意見が同じか違うか、似ているかどうかを考えて、「つけ加えて、・・・」「ちょっとちがって、・・・」などの話型を使って発言しています。大きな声は自信の表れです。



児童総会では、「トイレトペーパーがなくなったままになっている」について、話し合いをしました。分かった人が予備の袋から取り出してつけておく。もし、その袋に入っていなかったら、掃除の人が入れておくという発言がありました。



5, 6年生が企画し、今年初めて「1年生を迎える会」をしました。みんなが楽しめるようにと考えて、アイデアを出し合い、新しい集会を計画・運営することはなかなか難しいようです。

今、井田小学校が力を入れているのは、子どもを取り巻く問題を子ども自身が自力で解決する力を育てることです。子どもたちは、日々、自分の思いどおりに行かないことや、人と意見が衝突することなど、自分の規範と集団や社会の規範との間に葛藤が生じる経験をしています。実は、このとき、自分の欲求と社会規範との葛藤経験と重要な他者から妥協点の見だし方や折り合いの付け方を学んでいきます。ここでいう、重要な他者とは親や教師のことをいうのですが、その時かける親や教師の言葉や日頃の親や教師の姿をモデルに問題を解決する力をつけていきます。ですから、親や教師が、問題を解決してやったり、解決に向かわないアドバイスをしたりしては、いつまで経っても、子どもに力がつきません。親や教師の適切なアドバイスや姿勢を示すことが重要です。この力を今つけないと、中学校でも、高校でも、その先でも、子どもはいつまで経っても、問題解決力もつかないし自立していきません。それどころか、その問題からさらに複雑な問題を生み出し、自分自身を居心地が悪い状況に追い込むようになります。

そこで、自分の考えをもち、話し合いができる力をつけようと、学級活動や児童総会などの話し合いの経験を積み重ね、いろいろな場面で諸課題を教師の支援を受けながら、自力で話し合いと合意形成で解決する力をつける取組をしています。

あいさつができる子（基本的生活習慣と規範意識）の育成

- ①大きな声で気持ちの良い挨拶、返事ができるようにする。
○自己目標を決めて取り組むあいさつ指導の充実 ○全校、朝礼、下校時、給食時、学校行事の場での挨拶、返事の指導
- ②基本的生活習慣・行動様式を身につけさせる。
○学校行事等の事前指導 ○児童会で決めた学期ごとの生活のめあて達成への取組
- ③ルール遵守の態度を身につけさせ、ルールを守ることに優越感を感じさせる。
○道徳教育の充実

学校でもどこでも、集団で生活する場には、ルールがあります。それを守ることによって、互いに気持ちよく生活することができているのですが、現在、全国的に規範意識の低下が問題になっています。そのような中、子どもたちは、「規範を知らないのではなくて、規範を守らなくてもたいしたことはないと考えている。」という意見があります。そして、その原因は、次の3点であるといわれています。

- ①重要な他者（無条件の友愛を前提として関わる人たち：家族、先生、親友）の存在感が薄れてきた。
- ②一般的な他者（規範をなかだちとして関わる人たち：母親以外の家族、先生、友人、近所の人たち）との直接的関係が少なくなった。
- ③上のどちらでもない非人間的コミュニケーション（例えばマスコミやマニュアルどおりのつきあい）が増えている。

そこで、井田小学校では、まずはあいさつから、基本的生活習慣と規範意識を育てる取組をしています。



元気な挨拶をしてくれた友達に「挨拶ありがとうカード」を書いてポストに入れると委員が配達してくれます。また、挨拶チェックカードで振り返りをし、よくできた人を表彰しています。



1年生から6年生まで、縦割り掃除をします。教える、教えられるという関係の中で、人から頼りにされる経験を積みみます。一生懸命に働く子どもたちです。



給食は3年前から、全校一緒に食べています。当番はセルフ方式の中で各学年に応じた役割を果たします。20分の準備時間と20分の食事時間を目標にがんばっています。

井田幼稚園の取組

豊かな心	基本的生活習慣
<p>①思いやりのある子ども</p> <p>○友達の思いに共感したり、良さに気づいたりする場を大切にする。</p> <p>○植物の栽培や、身近な生き物の世話をする。</p> <p>○交流活動を吟味して推進する。 <small>（年間の計画を立てる）</small></p>	<p>①基本的生活習慣が身についた子ども</p> <p>○あいさつが大きな声でできるように指導する。</p> <p>○早寝早起き運動を実施する。</p> <p>○手洗いうがい・歯みがきを繰り返し指導する。</p> <p>②約束やルールを守ろうとする子ども</p> <p>○実際にやってみたり、表示やポスターの掲示をして意識づけをする。</p>



幼稚園では、朝の会、帰りの会でクラス全員が集まってうれしかったことや困ったことを発表したり話し合ったりしています。3歳児は聞くこと、4歳児は自分の気持ちを伝えること、5歳児は友達の思いに気づきながら話し合うことを目標に取り組んでいます。

4月にはなかなか静かにできなかった子ども達も、毎日の継続により少しずつ集中して話を聞くことができるようになってきています。今後も、クラスでの話し合いの場を大切にし、友達の思いに共感できるような豊かな心を育てていきたいと考えています。

夏休み中の 行事予定

- 7 / 20 (日) 大田市学童水泳大会【大田市都市公園プール】
- 7 / 26 (土) P T A親子ふれあい活動 17 : 00 ~
- 8 / 24 (日) P T A奉仕作業, ビール瓶・一升瓶回収